



## 2025年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2025年1月30日

上場会社名 株式会社アイチコーポレーション 上場取引所 東・名  
コード番号 6345 URL <https://www.aichi-corp.co.jp>  
代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 山岸 俊哉  
問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 奥村 匡 (TEL) 048-781-1111  
配当支払開始予定日 —  
決算補足説明資料作成の有無 : 無  
決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2025年3月期第3四半期の連結業績(2024年4月1日~2024年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期第3四半期	41,375	6.8	4,263	3.8	4,887	4.8	3,767	10.6
2024年3月期第3四半期	38,728	△2.9	4,108	14.7	4,665	11.2	3,406	14.2

(注) 包括利益 2025年3月期第3四半期 3,476百万円(△14.2%) 2024年3月期第3四半期 4,052百万円(65.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期第3四半期	50.52	—
2024年3月期第3四半期	45.33	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年3月期第3四半期	96,874	82,208	84.9
2024年3月期	94,921	81,789	86.2

(参考) 自己資本 2025年3月期第3四半期 82,208百万円 2024年3月期 81,789百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	—	19.00	—	21.00	40.00
2025年3月期	—	20.00	—		
2025年3月期(予想)				20.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2025年3月期の連結業績予想(2024年4月1日~2025年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	58,000	9.2	7,100	12.0	7,600	8.3	5,600	6.3	75.11

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無  
新規 — 社(社名) — 、除外 — 社(社名) —

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2025年3月期3Q	74,570,000株	2024年3月期	74,570,000株
2025年3月期3Q	9,852株	2024年3月期	9,697株
2025年3月期3Q	74,560,205株	2024年3月期3Q	75,145,869株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本四半期決算短信に記載されている将来に関する事項は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績は、経済情勢・為替相場の変動等の不確実性により、変更される可能性があります。

・業績予想に関する事項は、添付資料3ページ「(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況 .....	2
(2) 当四半期連結累計期間の財政状態の概況 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書 .....	6
第3四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書 .....	7
第3四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	9
(セグメント情報等の注記) .....	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	10
(継続企業の前提に関する注記) .....	10

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、堅調な企業業績を背景にした個人消費や設備投資が増加傾向で推移、政府の減税施策等による雇用・所得環境の改善も継続し緩やかな景気回復基調が続きました。

一方で米国新政権発足による通商政策の懸念、国際的緊張を巡る地政学的リスクの長期化、中国経済の減速、円安の進行を背景とした物価高の影響等により景気の先行きは依然として不透明な状況が続いております。

当社グループを取り巻く環境は、シャシ供給課題は解消に向かいつつあるも、原材料価格の高止まりや労務費の上昇、部品価格の値上げ等が継続しており、引き続き厳しい経営環境で推移いたしました。

この様な状況の中、サービス事業の売上につきましては、継続し予防整備提案の積極的な展開等の活動をすすめましたが、対前期比で減収となりました。特装車の売上につきましては、トラックマウント式高所作業車用シャシの認証問題の解決による前期繰越の売上もあり、対前期比で増収となりました。

また、利益につきましても、引き続き全社を上げて生産性向上と原価低減活動を展開しており、対前期比で増益となりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の連結経営成績は、売上高は前年同期を26億46百万円(7%)上回る413億75百万円となりました。

利益につきましては、営業利益は前年同期を1億54百万円(4%)上回る42億63百万円、経常利益は前年同期を2億21百万円(5%)上回る48億87百万円となりました。また、親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同期を3億60百万円(11%)上回る37億67百万円となり、売上・利益とも概ね期初に想定していた範囲で推移いたしました。

セグメントごとの経営成績は次のとおりであります。

#### (特装車)

特装車売上高は前年同期を31億79百万円(11%)上回る322億66百万円となり、売上総利益は前年同期を5億64百万円(11%)上回る55億51百万円となりました。これは主に、電力業界向けの売上が増加したことによるものであります。

#### (部品・修理)

部品・修理売上高は前年同期を5億6百万円(6%)下回る86億62百万円となり、売上総利益は前年同期を85百万円(3%)下回る29億83百万円となりました。これは主に、修理による売上が減少したことによるものであります。

#### (その他)

その他売上高は前年同期を26百万円(6%)下回る4億46百万円となり、売上総利益は前年同期を14百万円(16%)下回る77百万円となりました。

## (2) 当四半期連結累計期間の財政状態の概況

### ①資産

流動資産は、前連結会計年度末に比べて3億60百万円増加し、661億88百万円となりました。これは主に、受取手形及び売掛金が11億95百万円減少したものの、原材料及び貯蔵品が7億70百万円、商品及び製品が3億71百万円、現金及び預金が3億33百万円増加したことなどによります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて15億92百万円増加し、306億86百万円となりました。これは主に、投資有価証券が7億20百万円、建物及び構築物（純額）が3億13百万円減少したものの、有形固定資産のその他（純額）の建設仮勘定が13億72百万円、土地が11億26百万円増加したことなどによります。

この結果、総資産は前連結会計年度末に比べて19億53百万円増加し、968億74百万円となりました。

### ②負債

流動負債は、前連結会計年度末に比べて15億64百万円増加し、124億74百万円となりました。これは主に、未払法人税等が4億64百万円減少したものの、その他の設備関係支払手形が14億84百万円、支払手形及び買掛金が4億76百万円増加したことなどによります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて31百万円減少し、21億91百万円となりました。

この結果、負債合計は前連結会計年度末に比べて15億33百万円増加し、146億65百万円となりました。

### ③純資産

純資産合計は、前連結会計年度末に比べて4億19百万円増加し、822億8百万円となりました。これは主に、その他有価証券評価差額金が4億8百万円減少したものの、利益剰余金が7億10百万円増加したことなどによります。

### ④キャッシュ・フローの状況の分析

当第3四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前年同期に比べて378億18百万円増加し424億64百万円となりました。各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

#### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は、前年同期に比べて13億83百万円減少し、42億91百万円となりました。

主な資金の増加要因は、仕入債務の増加額20億31百万円、棚卸資産の増加額10億56百万円、税金等調整前四半期純利益5億52百万円などであり、また主な資金の減少要因は、売上債権の減少額59億20百万円などであり、

#### (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、前年同期に比べて23億81百万円減少し、8億83百万円となりました。

主な資金の減少要因は、預け金の純減額25億円などであり、

#### (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は、前年同期に比べて4億14百万円減少し、31億14百万円となりました。

主な資金の増加要因は、配当金の支払額1億98百万円などであり、また主な資金の減少要因は、自己株式の取得による支出5億98百万円などであり、

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年3月期通期の業績予想につきましては、2024年4月23日に公表いたしました業績予想から変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	42,131,006	42,464,970
受取手形及び売掛金	17,078,985	15,883,179
商品及び製品	2,819,650	3,191,172
仕掛品	1,643,386	1,908,809
原材料及び貯蔵品	1,562,785	2,333,630
その他	592,449	406,673
流動資産合計	65,828,262	66,188,436
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	6,655,773	6,341,883
機械装置及び運搬具（純額）	1,411,784	1,511,008
土地	8,522,521	9,649,041
その他（純額）	559,976	1,879,678
有形固定資産合計	17,150,055	19,381,610
無形固定資産		
無形固定資産	651,201	612,764
投資その他の資産		
投資有価証券	7,066,511	6,346,021
退職給付に係る資産	600,466	607,594
その他	3,630,421	3,743,422
貸倒引当金	△5,301	△5,107
投資その他の資産合計	11,292,097	10,691,930
固定資産合計	29,093,354	30,686,305
資産合計	94,921,617	96,874,742

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	7,372,886	7,849,081
未払法人税等	862,617	397,899
役員賞与引当金	38,000	19,500
製品保証引当金	133,476	117,163
その他	2,503,070	4,091,200
流動負債合計	10,910,051	12,474,845
固定負債		
再評価に係る繰延税金負債	616,302	616,302
繰延税金負債	1,383,340	1,366,344
その他	222,859	208,487
固定負債合計	2,222,503	2,191,135
負債合計	13,132,554	14,665,981
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	10,425,325	10,425,325
資本剰余金	9,923,342	9,923,342
利益剰余金	56,428,242	57,138,387
自己株式	△8,939	△9,126
株主資本合計	76,767,970	77,477,929
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	4,025,637	3,616,824
土地再評価差額金	△1,624,044	△1,624,044
為替換算調整勘定	1,218,929	1,457,450
退職給付に係る調整累計額	1,400,570	1,280,602
その他の包括利益累計額合計	5,021,092	4,730,832
純資産合計	81,789,062	82,208,761
負債純資産合計	94,921,617	96,874,742

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2023年4月1日 至2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2024年4月1日 至2024年12月31日)
売上高	38,728,799	41,375,171
売上原価	30,554,178	32,831,398
売上総利益	8,174,620	8,543,773
販売費及び一般管理費	4,065,652	4,280,158
営業利益	4,108,967	4,263,614
営業外収益		
受取利息	14,977	35,001
受取配当金	169,947	177,478
持分法による投資利益	326,900	370,640
為替差益	20,096	12,319
その他	26,685	29,274
営業外収益合計	558,606	624,714
営業外費用		
その他	1,624	483
営業外費用合計	1,624	483
経常利益	4,665,949	4,887,845
特別利益		
固定資産売却益	763	-
投資有価証券売却益	127,667	467,880
特別利益合計	128,431	467,880
特別損失		
固定資産除却損	669	8,999
投資有価証券売却損	-	765
特別損失合計	669	9,765
税金等調整前四半期純利益	4,793,711	5,345,961
法人税、住民税及び事業税	924,228	1,363,175
法人税等調整額	463,242	215,671
法人税等合計	1,387,471	1,578,846
四半期純利益	3,406,240	3,767,114
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,406,240	3,767,114



四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
四半期純利益	3,406,240	3,767,114
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	445,066	△408,812
為替換算調整勘定	79,591	93,109
退職給付に係る調整額	45,398	△119,967
持分法適用会社に対する持分相当額	76,526	145,411
その他の包括利益合計	646,582	△290,260
四半期包括利益	4,052,823	3,476,854
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	4,052,823	3,476,854
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	4,793,711	5,345,961
減価償却費	1,061,100	1,057,165
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	237	△193
製品保証引当金の増減額 (△は減少)	△16,193	△16,312
退職給付に係る資産の増減額 (△は増加)	-	△7,128
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△108,644	-
受取利息及び受取配当金	△184,924	△212,479
持分法による投資損益 (△は益)	△326,900	△370,640
投資有価証券売却損益 (△は益)	△127,667	△467,115
為替差損益 (△は益)	△384	△105
固定資産除売却損益 (△は益)	△94	8,999
売上債権の増減額 (△は増加)	7,127,988	1,207,352
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△2,662,228	△1,605,650
仕入債務の増減額 (△は減少)	△1,553,220	477,836
その他	△1,054,669	70,172
小計	6,948,111	5,487,862
利息及び配当金の受取額	937,767	579,651
法人税等の支払額	△2,211,154	△1,776,261
営業活動によるキャッシュ・フロー	5,674,724	4,291,253
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
預け金の純増減額 (△は増加)	△2,500,000	-
投資有価証券の売却による収入	133,999	599,993
有形及び無形固定資産の取得による支出	△894,143	△1,477,782
その他	△4,894	△5,265
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,265,039	△883,054
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
自己株式の取得による支出	△598,298	△186
配当金の支払額	△2,858,014	△3,056,969
その他	△72,906	△57,788
財務活動によるキャッシュ・フロー	△3,529,219	△3,114,944
現金及び現金同等物に係る換算差額	38,551	40,711
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△1,080,983	333,964
現金及び現金同等物の期首残高	5,727,648	42,131,006
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,646,665	42,464,970

## (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(セグメント情報等の注記)

## 【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計
	特装車	部品・修理	計		
売上高					
外部顧客への売上高	29,086,586	9,169,289	38,255,875	472,923	38,728,799
内部売上高又は振替高	1,781,011	81,268	1,862,280	—	1,862,280
計	30,867,597	9,250,557	40,118,155	472,923	40,591,079
セグメント利益(注) 2	4,987,189	3,069,485	8,056,674	92,215	8,148,890

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、高所作業車等の中古車販売および教育事業等であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の売上総利益から内部取引消去を調整して算出しております。

## 2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容

(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	8,056,674
「その他」の区分の利益	92,215
内部売上相殺消去	△1,862,280
内部売上原価相殺消去	1,888,010
全社費用(注)	△4,065,652
四半期連結損益計算書の営業利益	4,108,967

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

当第3四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計
	特装車	部品・修理	計		
売上高					
外部顧客への売上高	32,266,338	8,662,340	40,928,679	446,492	41,375,171
内部売上高又は振替高	1,970,763	140,873	2,111,637	—	2,111,637
計	34,237,102	8,803,214	43,040,316	446,492	43,486,808
セグメント利益(注) 2	5,551,518	2,983,675	8,535,194	77,732	8,612,926

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、高所作業車等の中古車販売および教育事業等であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の売上総利益から内部取引消去を調整して算出しております。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容  
(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	8,535,194
「その他」の区分の利益	77,732
内部売上相殺消去	△2,111,637
内部売上原価相殺消去	2,042,484
全社費用(注)	△4,280,158
四半期連結損益計算書の営業利益	4,263,614

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。